

横手支援学校では

障害理解のための「出前授業」を実施しています

なぜ障害理解授業を行うの？

障害に関する話や体験活動等を通して、障害への理解を深める授業です。障害に対する正しい知識をもち、障害のある方が様々な工夫をして生活していることや、工夫をすればできることがたくさんあることなどを知る機会となります。児童生徒の感じ方や考え方が広がり、自己理解、他者理解の力が育まれることが期待できます。

授業の実際

道徳科や総合的な学習の時間、学級活動でも行っています。

居住地校交流の事前学習（小学校）



『好きなこと、にがてなこと』って何だろう？」振り返り

～振り返り・感想から～

- ・自分や友だちの苦手なことを受け止めて助け合うことが人と人とのつながりに大切だと思いました。
- ・みんな同じ気持ちになったことがあるかもしれないので、ほっとしました。

*授業は学級担任の先生と役割分担して進めました。

障害理解授業の内容（例）

※内容は、希望や年齢に合わせて相談しながら決めています

小学校	低学年	「あなたは どんな おともだち？」 ・得意なこと、苦手なことの捉え方	～全学年共通～ 「横手支援学校の友だち」 ・学習の様子、障害の特性や関わり方 「体験活動」 ・言葉のバリア体験（分からない不安） ・お互いの気持ちを合わせる体験 等
	中学年	「だれのための工夫かな？」 ・バリアフリー、ユニバーサルデザイン	
	高学年	「バリアって何だろう？」 ・社会にある四つのバリア	
中学校 高等学校		「相手の気持ちになって行動しよう」 ・心のバリアフリー、多様性の尊重	

～共生社会の実現を目指して～ 障害理解の出前授業を活用してみませんか



秋田県立横手支援学校

教頭 佐藤 貴子

地域支援部 土田 優子

〒013-0064

横手市赤坂字仁坂105番地1

TEL 0182-33-4166 FAX 0182-33-4266

